平成２９年度　稲田中学校　学校経営グランドデザイン

第6次福島県総合教育計画
“ふくしまの和”で奏でる　こころ豊かなたくましい人づくり

須賀川市教育委員会学校教育の重点
未来からつかわされた
「やさしく正しくたくましいウルトラの子」

1　郷土を愛する心と地球規模の視野をもち、自他の違いを尊重して社会のために責任ある行動ができる子ども
2　社会や実生活とのつながりを意識しながら、意欲的に学び合い、考えを深め、問題解決できる子ども
3　運動やスポーツに親しみ、体力の向上や健康の増進に自ら努め、周囲の人とともに生活できる子ども

保護者〈地域〉に期待すること～家庭教育10の誓い～

保護者〈地域〉の期待・願い
学力向上　　望ましい人間関係　　進路指導の充実
生き方の指導　　情報発信等　　放射線対策

教　育　理　念
幼稚園、小学校、中学校の連続性・一貫性のある教育活動を通して、社会の変化に対応して個性や能力を発揮できる人材の育成

教　育　目　標
豊かな人間性や社会性を身につけたたくましい稲中生

目指す生徒の姿
自ら学ぶ生徒　　思いやりのある生徒　　健康で働く生徒

「師弟一如」の精神
教師集団の指導力を高め、一人ひとりの生徒の成長を追求

目指す学校像
子ども達の笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校

理想とする学校像
○　夢をもって繰り返し挑戦できる学校
○　わが子を託したいと思える学校
○　生徒を核に、地域・家庭とともに「協働の心」を育てる学校

目　指　す　教　師　像
○　授業を大切にする教師
○　生徒を大切にする教師
○　同僚を大切にする教師
○　保護者や地域から信頼される教師

確かな学力
学力向上を目指し、一人一人の学習状況に対応して、「やればできる」実感を高めます。

1　自ら学ぶ態度の育成
　①「学習の手引き」や「授業の心得」によるガイダンス
　②　家庭学習の記録点検と意欲的かつ的確な支援
　③　漢字検定、数学検定、英語検定の奨励
2　基礎的・基本的な知識技能の徹底習得
　①　基礎学力コンテストの実施（漢字・計算・英単語）
　②　定期テスト前の補充学習の実施
3　アクティブラーニングの導入
　①　主体的・協同的学習の場の設定と実践の継続
　②　コミュニケーション能力の育成
　③　学校図書館教育の推進　学校司書の活用
4　個別学習の充実
　①　放課後、長期休業等における個別指導の充実
　②　特別な支援を要する生徒への支援体制の確立
5　全国学力学習状況調査・市・県学力調査の分析・活用
　①　小学校からの経年変化の検証ときめ細かい支援
6　教職員の指導力向上
　①　現職教育の充実、一人一授業研究、小学校連携
　②　岩・中教研等校外研修への積極的参加
　③　市教育研修センターとの連携

○ 家庭学習時間の確立（15分×7・8・9学年）
○ 各種テストの結果　前年度比2ポイント改善
○ 基礎学力コンテスト合格率80%
○「授業が分かりやすい」回答率90%
○ 授業研究会一人1回
○ 学校図書館貸出冊数　前年度比20%改善

豊かな心
自他の立場や気持ちを理解し、協力し合って自己の役割や責任を果たそうとする態度を育てます。

1　集団不適応への対応
　①　Q－Uテストによる学級集団へのきめ細かい支援
　②　いじめ・不登校に対する「チーム学校」による組織的な支援・指導
　③　アセスメントシートによる情報共有体制の確立
　④　SC、心の教室相談員、SSWの積極的活用
2　道徳教育の充実
　①　教科化を踏まえた「考える道徳」への転換
　②　道徳の授業の指導資料・指導案の共有
　③　生徒会・各学級におけるいじめ防止の取組実践
3　居場所づくり、絆づくり
　①　授業・学級・生徒会活動・部活動等で主体的な活動の場の設定と賞賛
　②　生徒一人一人理解のための「連絡ノート」の活用
　③　認め合いよりよい人間関係を築く学級経営
　④　情報モラル教育とノーメディアデーの推進
4「ABC大作戦Ver. 2」の推進
　A：いつも明るくさわやかなあいさつができる稲中生
　B：勉強と部活動にがんばる稲中生
　C：清掃・整理整頓を心がけクリーンな稲中生

○ いじめの未解消ゼロ
○ 不登校生徒学校復帰100%　新たな不登校ゼロ
○ 道徳教育教師自己評価　3．2
○ 表彰生徒のべ人数　前年度比10%増
○「ABC大作戦Ver2」生徒評価　平均3．5

たくましい心と体
心身ともに健康で、「なりたい自分」の実現に向けて自分から努力する態度を育てます。

1　基本的生活習慣の確立
　①「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
　②　家庭教育10の誓いの実践
2　自主的な健康管理の実践
　①「自分手帳」の管理と活用
　②「地域学校保健委員会」の開催
3　関係機関と連携した食育の充実
　①　朝食摂取率向上と「マイ弁当の日」の実施
　②　給食センターとの連携を図った給食運営
4　体力向上
　①　各種プログラムを取り入れた授業改善
　②　教科外体育の推進（部活動、特設陸上・駅伝部）
　③　特別活動（体育的行事）の充実
5　キャリア教育の推進
　①　各教科・領域等におけるキャリア教育の推進
　②　小学校との系統性・継続性を意識したキャリア教育の実施
　③　職業講話・職場訪問・高校体験入学・高校説明会の推進
　④　自尊意識を高める体験活動の推進

○ 生徒の朝食摂取率100%
○ う歯治療率前年度比改善
○ 生徒出席率98%
○ 新体力テスト　AB判定30%
○「将来の夢・進路目標実現」生徒評価3.5以上

地域や保護者との連携
□開かれた学校づくり
・ホームページの積極的更新
・学校だより等の発行、充実
・地域との積極的連携
□新PTAの活動の充実
・統合による内容・行事調整
・開校にむけた組織活動検証
□家庭教育の推進
・「シャトルカード」の毎月発行
・「家族の日」「家庭教育10の誓い」の更なる推進

夢と希望が持てる学校づくり
□新校舎の機能を生かした
・備品管理と配置計画の策定
・引っ越し計画の策定
・新校舎の機能確認と活用方法の研究
□改築工事に伴う活動の工夫
・保健体育・部活動の場所確保
・生徒の安全安心の徹底
・教育計画・教育課程の弾力化
□新しい学校への意識改革
・生徒の主体的活動による夢・希望づくり
・教職員の意識改革

小中一貫教育の推進
□従来の取組の検証・改善
・教育課程、教育計画策定
・通年型相互乗り入れ授業
・日課表の統一
□全教職員による組織的対応
・小中一貫連絡協議会での協議
・継続的な教員交流
□保護者・地域との連携
・小中PTA、評議員会の統一
・地域運営協議会の開催
・積極的な情報発信
□市教委開設準備室との連携
小学校への乗り入れ授業
小中交流授業
合同学校行事
検定試験の実施
部活動体験　　縦割り活動
児童会生徒会の交流等

学校事故等の防止
・出欠確認・健康観察の徹底
・繰り返しの安全指導
・学区内危険個所の把握と点検
・安全点検等の確実な実施
・保護者・関係機関・協力者との連絡・連携（緊急メール）
・安全点検・危機対応マニュアルの見直し
・食の安全・放射線量の公開と放射線教育の充実

学校評価による改善
組織的な各種評価の収集・分析による改善
保護者アンケート・学校関係者評価の活用

教職員の資質向上
校内研修の充実　　外部研修機関との連携　人事評価
不祥事の根絶　セーフティネット機能の高揚